

# 9月定例会の議案質疑等の内容

9月定例会(8月31日から9月21日まで開催)では、市長提出議案27件のほか、議員提出議案1件、請願1件を審議しました。質疑・討論の主な内容は下記のとおりです。

## 一般会計決算

### 歳入

**問** 平成17年の合併時の基金残高が約68億円であったのに対し、3年度末では、約151億円と増加している。また、地方債については、約19億円の減少となっている。地方債の削減は良いことであるが、基金の積み立ては単年度あたりの事務事業にかける予算執行が少ないともとれるが、基金の積み立てについての市の考えは。また、基金残高の県内63市町村中の順位は。

**答** 基金残高が増えた要因は、地域振興のため地域振興基金について合併特例債を原資として積み立てたことによること、また、合併特例債の償還の原資として可能な限り減債基金に積み立てるなど、将来の財政需要に備えてきたことによる。合併後はちちぶ夢創り基金のようにその目的に応じて必要と考える、新たな基金を創設している。基金残高の県内市町村中における順位は、2年度決算において8位となっている。

### 歳出

**問** ふるさと集落生活圏形成推進事業における、大滝総合支所への集約化計画の進捗は。

**答** 平成30年度に大滝総合支

所、大滝公民館、秩父図書館大滝分館を旧大滝中学校に移転して以降、3年10月には、サロン形式事業の「とちの木カフェ」を移転している。4年度、大滝国保診療所を移転するための設計業務委託を行う予定であり、6年度に移転を行う予定である。

**問** 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための自動水洗・トイレ洋式化事業における、公共施設のトイレ洋式化の現状は。

**答** 3年度末における洋式化率は75・7%となっている。

**問** 災害・危機対応事業について、災害時の避難所となる小中学校体育館へのエアコン設置の要望をしてきたが、その後、設置の検討は。

**答** 他市の状況等の情報収集はしてきたが、エアコンの設置という形まで至っていない。

**問** 大規模盛土造成第二次スクリーニング計画策定委託料の内容は。

**答** 県による大規模盛土造成地調査において、市内には54

か所の造成地が確認されている。地震が発生した場合、危険な造成地が何か所あるかを抽出するのが第二次スクリーニングであり、基礎資料の整理、宅地カルテの作成、学識経験者の意見を伺い、対策が必要な造成地の優先度を評価するものである。

## 一般会計補正予算(第3回)

**問** スマホ教室等開催事業の内容は。

**答** スマートフォンを苦手とする方、特に高齢者を対象としたスマホ教室を無料開催し、さまざまな場面でスマートフォンが活用できるスキルを習得してもらうことでデジタル格差の解消を図るものである。60歳以上の市民のうち、スマホの使い方がよく分からない初心者を対象とした教室を市内各所で、1クラス20人をめどに複数回開催するもの。総数200人を対象としている。

**問** スマホ教室については、各通信会社の店舗などで開かれていますが、市が関与する理由は。

**答** 市が教室を開催することで、一律に周知・PRをすることができ、受講につながるのではと考える。

**問** 畜産飼料価格高騰緊急対策事業補助金の内容は。

**答** 飼料価格が非常に高騰しているため、畜産農家に対し、飼料1トン当たり5250円を6か月分助成するもの。

**問** 上水道基本料金免除負担金について、定住自立圏構想として、秩父地域1市4町で上水道料金がようやく一本化されたところであるが、なぜ市だけが新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使って、上水道基本料金の免除に至ったのか。

**答** 物価高騰対策として、多くの市民に対応できる方法として基本料免除の実施を考えている。市のみ行う理由は、4町に確認したところ、他事業に予算を使いたいとのこと、各町長にご理解はいただいている。

**問** 生活のしづらさなどに関する調査交付金の内容は。

**答** 厚生労働省より同調査を行う旨の通知があり、その調査に対する交付金となる。同調査は、全国の在宅障害児・者等の実態調査であり、おおむね5年に一度行っている。



の様子(本庁舎4階)

新型コロナウイルス感染症の流行を背景に3年度は延期をしていたが、4年度に実施することとなった。調査区域は国により国勢調査の調査区から3調査区が抽出され、調査区あたり5万2千円が交付される。調査については12月に実施する予定。

**問** 市営住宅管理事業の修繕料300万円の内容は。

**答** 内装の修繕を伴う新規入居件数が例年より多く、この時期だと5件程度だが、すでに10件ほどの入居があり、当初予定していた修繕料でまかなえないため計上する。今後12戸の修繕を予定している。

**問** 婚活イベント委託料の内容は。

**答** 昨今、市における婚姻数が減少している現状下において、コロナ禍もあり出合いの機会が減少している。出合いの場の創出に向け、市内の飲食店を会場として、婚活イベントを開催するものである。11月の土曜日に3回実施する予定である。

**問** マイナンバーカード出張申請サポート業務委託料に関する、内容および具体的な出張申請サポート場所は。

**答** 商業施設や公民館、企業などへスタッフが出向き、写

真撮影や申請書作成のサポートをすることで、市民のカード取得率の向上を図る目的で実施するもの。平日に月7日間、公民館等公共施設などを会場として行うほか、土日を中心月に4日間、商業施設等の入り口付近でイベント会場を設置し開催する。企業を対象としたサポート事業は、50事業所を想定している。実施期間は、11月中旬から5年3月までを予定している。

**討論**

**反対**

マイナンバーカード出張申請サポート委託料について、プライバシー保護・個人情報(暗証番号)等の対策が十分とられるのかどうか危惧されること、事務そのものは国庫補助金として全額が国によって賄われるものの、コロナ禍において、人員募集をかけたも必要人員が確保できないという状況下にある中、市の負担をさらに過重なものにするとは明らかであり、市にとってメリットがあるものと思えず反対する。



9月定例会本会議

**後期高齢者医療 特別会計決算**

**問** 4年10月1日から、75歳以上で一定所得以上の高齢者の医療費窓口負担が1割から2割負担へと引き上げられるが、その場合どのような影響があると考えられるか。

**答** 該当者は7月現在で、被保険者1万864人中、約17%の1843人。頻繁に受診する必要のある方は影響が大きくなるので、負担軽減のため、1か月の外来増額を3千円までとする配慮措置が3年間実施され、1年間で最大3万6千円までに抑えられることになる。

**討論**

**継続審査に反対**

**「秩父地域の県立高校4校の存続を求め、皆野高校と秩父高校の統合計画に反対し、撤回を求める意見書」提出に関する請願**

現状、市議会としては、県が発表した皆野高校と秩父高

校の統合計画案に関して賛否を表明していない状況である。この県による魅力ある県立高校づくり第2期実施方針(案)については、7月19日から8月18日にかけてパブリックコメントが実施され、秋には正式決定する方向で進んでいる。今回の総務委員会による継続審査の決定は、12月定例会まで審議が継続されることを意味しており、県による最終的な判断がなされるであろう時期に、意見書の提出が間に合わない状況になってしまう。人口減少に伴う学校統合については、時代の流れとして致し方ない部分はあるものの、両校の統合については、過去からの学校変遷を踏まえれば多くの市民が違和感を覚え、そして議員各位も同様な思いであると捉える。まずはこのタイミングにおいて、市議会としての態度を、県知事・県教育長に対し表明することが必要と考える。よって、市議会として両校の統合計画に対する反対の意見書を即時に提出すべきと考え、総務委員会において総員賛成で決定された継続審査に反対する。

**秩父市議会 ホームページをぜひご覧ください**

議会では市民の皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。

秩父市議会ホームページでは、定例会等の日程や審議する議案、過去の会議録や録画中継映像などをいつでも確認することが出来ます。また、議員の名簿や議会だよりのバックナンバー等も掲載しています。

秩父市ホームページのトップページのバナーから、または「秩父市議会」で検索して、ぜひご覧ください。

